

# 平成 28 年度 妙高市理科部 活動報告

部長 吉越 透(妙高市立新井北小学校)

## 1 研究主題

科学的な思考力を育成する理科指導の工夫（4年次）

## 2 活動の概要

- (1) 第1回部会 4月20日(水) 新井ふれあい会館 会議室B  
①組織作り ②研究主題の検討 ③組織、研修内容及び活動計画立案等
- (2) 第2回部会 夏の一斉研修「理科教育研修会」8月19日(金)新井小学校  
「子どもが主体的に課題に取り組む『アクティブラーニング』な授業の試み」  
「科学を学ぶ意義を高める教材開発 ～中学校理科ネタの提供～」
- (3) 第3回部会 秋の一斉研修「理科授業研修会」  
11月8日(火) 新井中学校第2理科室  
○単元名：中学1年 「状態変化」 ○授業者：鬼木 哲人教諭

## 3 研究の実際

### (1) 理科教育研修会

小学校部研修では、理科におけるアクティブラーニングの考え方について、大切にしたいことや実践した内容について研修を行った。中学校教諭の参加者からは、中学校の理科の内容と時数の現状から、なかなか能動的な活動を設定しにくいという葛藤も聞かれた。

中学校部研修では、パワーポイントを使って、これまでの授業で実践してきたコーラの噴水などの9つの教材の紹介を行った。次に、「プラスチックのしゃぼん玉を作る」と「1枚の葉から2枚の葉脈標本を作る」実習を全員で行った。参加者にとって、実験を通して理解を深めることの大切さと教材研究の意義とその深さを考えさせる研修となった。

### (2) 理科授業研修会

授業者の反省と質疑応答の後、3グループに分かれグループ協議を行った。協議題は、「小中連携の点から授業を参観して気付いたこと」と「アクティブラーニングをどのように理科学習に生かすか」の2点を設定し、活発な討議が行われた。その後、各グループの代表者から協議内容の発表があった。熱心な各グループの協議が伝わってくる内容の深い発表となった。

最後に、新井中学校 川上 晃校長先生から、教師の指導観の重要性やアクティブラーニングのポイントなど日々の学習指導に生かせるご指導をいただいた。



## 4 成果と課題

今年は、第3回部会で中学校理科の授業公開研修を実施した。校種の違いからくる児童生徒の見取りや指導方法など今後の授業に生かせる研修であった。また、アクティブラーニングを意識した授業展開を行い、今後の研修の方向性を示唆する研修ともなった。今後も、実技研修と授業公開研修を通して、一人一人の授業力の向上を目指す。